

徳島県出身者が在學生に1名しかいないという状態が長く続き、徳島榛名会（徳島支部）では「在學生がいない同窓会に未来はない」という強い思いを共有し、受験生確保・増加に向けた活動を中心に行って参りました。その具体的な活動施策として、四国近隣の3支部長のご支援もいただき大学へ高松入学試験場設置のお願いや、大学広報チームの徳島県内高校への派遣・訪問を要請して参りました。

結果、理事長様、学長様および同窓会本部会長様の深いご理解と強いご支援を得ていずれも実現し、一昨年には2名、本年度には2名の入學生があり、大きな喜びのなか胸を撫で下ろしているところであります。

さて、そのような状況の下で猛暑のなか、在學生の帰省に会わせて8月14日に新入生歓迎および暑気払い例会を開催いたしました。参加者は、新入生2名、三年生1名、当会員8名の総勢11名での大盛会となりました。在學生の例会参加は昨年につき2回目となり、新入生には入学祝金を贈呈のうえ大歓迎いたしました。

懇親会では、在學生が話題の中心となりましたが、3年生によれば、「当会の昨年の例会に参加し初めて徳島県出身者が他にいることを知り、それ以来、緊密に連絡を取り合っている。昨年末に当会が開催した『国内研修プログラム（地元就職に向けた研修会）』に参加予定であったがコロナ発症で急遽参加できなくなり、副会長が自宅まで資料を届けてくれて感謝している。後日、参加していたもう一人の同級生から研修内容の概略の説明もあり、就職に向けて大変参考になった。」とのことでした。また、新入生によれば、「本県出身の同級生や先輩がいることを初めて知った。今後、色々な相談や親睦を図りたい。」とのことでした。

会長からは、在學生にとって最も気になっている地元への就職に向けた「国内研修プログラム（地元就職に向けた研修会）」を昨年末に引続き本年末も開催する旨、また、今後も在學生の夏休み帰省に合せた暑気払い例会を開催する旨も伝え、是非参加するよう案内いたしました。

在學生との楽しく大変有意義な同窓会となりました。



会長挨拶



歓談



新入生祝金贈呈